

令和6年11月21日

**(公社)全日本トラック協会青年部会
令和6年度第2回全国代表者協議会開催について**

(公社)全日本トラック協会青年部会(出島康佑部会長)は、令和6年11月21日(木)に「令和6年度第2回全国代表者協議会」を開催した。当日は、令和6年度青年部会テーマ「絆をかたちに～共に描く物流の未来～」のもと、全国のトラック協会の青年組織代表者ら53名が出席した。

会議冒頭、出島部会長が挨拶を行い、「各ブロックにおけるブロック大会はここまですべて順調に開催されており、残るは九州ブロックのみとなった。九州ブロックの翌週は全国大会となる。引き続き皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます」と述べ、同日の研修について「本日はふたつのテーマでグループディスカッションを行っていただくので、よろしくお願ひしたい」と述べた。

次に、全ト協の楠木副会長が「車両価格の上昇が、今後、大きな問題となってくるのではないかと懸念している。運賃交渉は原価計算をきちんとして荷主へ持っていかなければ、わかってもらえない。最低でも10パーセント程度の運賃値上げが実現出来なければこの業界は保っていけない。」と挨拶した。

議事では、(1)社会貢献活動について(2)令和6年度青年部会第3回全国代表者協議会及び全国大会について(3)災害支援ネットワークの構築について等について諮り、承認を得た。

続いて「令和6年度重点取組」実施及び取組状況に関するアンケート調査結果について出島部会長より説明し、各部会員が確実に重点取組を実施するよう促した。

また、研修会では、松田副部会長の進行により9ブロックに分かれ「令和6年度重点取組実施及び取組状況に関するアンケート調査結果について」「災害支援ネットワークの構築について」をテーマにディスカッションが行われ、終了後、稲見副部会長が総括し、研修会を終了した。



挨拶（出島部会長）



挨拶（楠木副会長）



研修会の様子

以上